

令和7年度 平原和朗地震学講座Ⅱ

～自治体職員向け地震学のすすめ～

南海トラフ巨大地震の今後30年での発生確率について、新たな議論が起きています。どういった議論でしょう？

地震の基礎知識から近年の地震の解説に加えて、こういった南海トラフの発生確率の議論、および南海トラフ臨時情報、北海道・三陸沖後発地震注意情報などについての解説を通して、自治体職員の防災業務に役立てていただくことを目的に本講座を開催します。

※自治体職員でない方もご参加いただけます。

【第1回】 1月27日(火) 10:30-12:00	地震の仕組みと現象
【第2回】 1月27日(火) 13:00-14:30	近年の地震(東北地方太平洋沖地震、能登半島地震、カムチャツカ半島東方沖地震)
【第3回】 2月19日(木) 10:30-12:00	南海トラフの地震活動の長期評価(第二版) その後30年発生確率の見直し
【第4回】 2月19日(木) 13:00-14:30	南海トラフ巨大地震を巡る中央防災会議の動き ～南海トラフ地震臨時情報とは～

お申込みはこちら(1/25〆)

URL:<https://forms.office.com/r/XsKiDbfwKi>



▶ 香川大学幸町キャンパス
研究交流棟6階第2講義室
オンライン同時開催

※講義は全4回ありますが、その都度お申し込みください。

講師 平原 和朗 先生

(香川大学客員教授、京都大学名誉教授)



【講師プロフィール】

昭和50年 3月	京都大学理学部卒業
56年 3月	京都大学大学院博士後期課程修了
56年 3月	京都大学理学博士
56年 4月	日本学術振興会奨励研究員
57年 4月	京都産業大学理学部非常勤講師
58年 6月	京都大学防災研究所助手
平成17年 4月	京都大学大学院理学研究科教授（～平成30年3月）
30年 3月	京都大学名誉教授
30年 4月	香川大学客員教授、国立研究開発法人理化学研究所 非常勤研究員（現在に至る）

【学会・委員活動等】

平成20年 4月	日本地震学会会長（～平成24年3月）
20年 11月	アジア地震学会会長（～平成24年9月）
24年 12月	地震予知連絡会会長（～平成31年4月）
25年 8月	地震調査研究推進本部政策委員会調査観測計画部会会長（～令和4年6月）
28年 9月	南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応検討ワーキング委員（～平成29年9月）